



# 部長に聞く！「令和4年度の取組み」

今年度の市の取組みを分かりやすくお伝えするために、  
行政の各分野を所管する部長から各部の基本方針や現状と課題、  
重点的な取組みなどを紹介します。

議会をもっと身近な存在に



議会事務局長 齋藤 貴代

ホームページの充実などに取り組んでいます。また、今年度からはコロナ禍での議会のあり方も検討しながら、議会資料のペーパーレス化や迅速な情報伝達、オンライン会議などタブレット端末の活用にも取り組んでいきます。

みなさん、『議会』『議員』と聞くと、堅苦しい、近寄りたがたいといったイメージがありませんか？

郡上市議会は18人の議員で構成され、議長、副議長を中心に、市民のみなさんの意見を市政に反映させるため活動しています。議会事務局では、そうした議会の活動がスムーズに行えるようサポートをしています。そして多くの方に議会を知っていただくため、議員自ら編集する議会だよりの発行の補助や、一般質問のYouTube配信、議会ホ

市民のみなさんには是非、議会の傍聴にお気軽にお越しいただき、議員の生の声を聞くことで、議会を知っていただければと思います。お待ちしております！

## 行政手続きのオンライン化を推進



市長公室長 河合 保隆

市長公室は、市長のトップ

マネジメントを補佐する部署として、市長・副市長の秘書業務をはじめ、広報・広聴、都市交流、重要政策の企画・調整、公共交通、統計、地方創生や市民協働、職員の育成や人事、行政のデジタル化の推進など、幅広い分野を担当しています。

さて、市では、今年度の重点的な取組みの一つに行政のデジタル化の推進を掲げています。これまでに「A-RPACR・RPA」を導入し、データ入力作業の自動化等によって業務の効率化を図る取組みを進めています。今年度は、さらに各種申請やアンケート調査などの行政手続のオンライン化に取り組み、利便性の向上を目指します。

また、地域の実情に合った持続可能な交通ネットワークの構築に向けて、新たな交通計画の策定に着手するほか、

安心・安全な公共施設の利用を提供していくため、施設機能の複合化や計画的な保全に向けた取組みを進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

## 持続可能な地域社会の実現に向けて



市長公室付部長 三輪 幸司

「ひと・まちづくり推進事業」では、これからの地方創生を担う地域の創り手に焦点を合わせ、郡上の未来へ向けて主体的に行動する人を増やす取組みとして、3つの実践プログラムを実施します。

このほか、関係人口の獲得・拡充、本市の魅力を発信する「郡上藩江戸蔵屋敷」、積極的なプロモーションを展開しながら受け入れ体制の強化を図る「ワーケーション」、持続可能な地域づくりを目指す「小さな拠点とネットワーク」の推進など、諸事業を積極的に推進してまいります。

政策推進の旗印である「観光立市郡上」については、地域資源を活かしたまちづくりによる経済・社会の活性化を目指して、分野を横断しながら新型コロナウイルス対策等を含めた様々な取組みを進めます。

また、今年で3年目となる



## 年内にコンビニでの住民票等交付サービスを開始



総務部長  
加藤 光俊

総務部は、防災・生活安全などの市民の安全に関わることや、財政・財産管理・税務などの財務全般、加えて戸籍や斎場等の市民窓口、また選挙など幅広い分野を担当しています。

生活・交通安全では、自治会等が行う防犯カメラ設置費用や、高齢運転者のアクセルとブレーキの踏み間違え防止のための補助金を交付し、安心・安全なまちづくりを進めます。

財産管理では、今後予定している大和地域での学校統合等により生じる空き施設について、行政としての利用のほか、地域や団体の意見をお聞きしながら活用していけるようガイドラインを定めて検討を進めます。

市税の公平かつ適正な課税

に加え、税及び各種料金の適正な債権管理と効果的・効率的な債権回収に努めます。

本年10月までを用途に、マイナンバーカードを使用してコンビニエンスストアで住民票等の交付を受けられるようシステム整備を図ります。多くのお客さまがこうした利便性を享受できるよう、マイナンバーカードの取得率向上を目指します。

### 安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して



健康福祉部長  
田口 昌彦

健康福祉部では、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、全ての市民のみなさんが、いつまでも健康で生きがいを持ち住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指しています。

令和4年度においては引き続き、子育て世代、障がい者、高齢者や生活にお困りの方へ

の支援対策、健康寿命の延伸を図るための保健事業を推進するとともに、複雑化・多様化する課題に対応できるように各種相談窓口の連携を図り、相談支援体制の強化充実に取り組めます。

また、長引くコロナ禍においては感染予防及び重度化予防のため、郡上市医師会のご協力を得ながらワクチン接種を進めるとともに、感染の拡大を防ぐため、基本的な感染防止対策について市民のみなさんへの周知啓発に努めます。

### 「優しさ・温かさ・思いやり」のある施設づくり



郡上偕楽園長  
勝水 崇博

郡上偕楽園は、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護（ショートステイ）、養護老人ホームからなる高齢者福祉施設で、常時約120人が生活をしています。職員一人ひとりが当たり前のことを的確・

確実に言い、「優しさ・温かさ・思いやり」を心がけて丁寧な支援や介護を目指し、利用者の方たちが安全に安心して過ごしていただけるよう努めていきます。

また、郡上偕楽園の移転については、大和の小学校統合に伴い、いずれかの跡地を一つの候補地として検討しています。できるだけ早い段階で候補地を選定し、進めていきたいと思えます。

### 集落と創る！ 持続可能な農林水産業



農林水産部長  
田代 吉広

農林水産部では、農家、森林所有者、関係団体・事業者の事業の継続、発展のための取組を行いながら、地域の景観・環境・防災にも関わる森林、農地の維持管理、活用に努めています。農業の面では、地域で実質化された人・農地プランを策定し、農地集積や

中山間地域等直接支払制度などの制度、事業を活用して、地域と担い手が連携した農地の維持を図ります。また、園芸作物ではひるがの高原大根の洗い場施設の新設、トマト選果場のカメラ更新などを行い、ブランド力の向上を目指します。林業では森林環境譲与税を活用し、森林の多面的機能の向上と災害に強い山づくりを進め脱炭素社会の実現に向けた森林整備・木材利用を強化します。畜産では畜産基盤事業等により、安定した畜産経営を推進します。

### 魅力あふれ「選ばれる郡上」を目指して



商工観光部長  
可児 俊行

2年にわたるコロナ禍は、市内経済に大きな影響を長期に及ぼし、今なお収束の兆しが見えない状況が続いています。商工観光部では、市内事業者の方への必要な支援策と

して緊急的な経済対策を適切に講じつつ、ウイズ・アフターコロナを見据えて市内の消費喚起と観光客の回復を目指し、市内キャッシュレス決済の推進、観光誘客の促進に取り組みます。

「観光立市郡上」の推進では、デジタルマーケティングを活用し郡上フアンの来訪につなげる施策の展開や、アウトドアのエリアブランディングにより誘客を図ります。

産業振興では、雇用創出を目指すサテライトオフィスによる企業誘致と、コロナ禍での事業継続や雇用維持のため、新分野展開や事業転換等を図る事業者支援を積極的に行ってまいります。

また、ウイズコロナで迎える「郡上のおどり」の3年ぶりの開催に向け、開催方法に関係団体と協議し推し進めるとともに、郡上おどり保存会100周年記念事業の事業推進を支援してまいります。

## 暮らしの基盤が整う まちづくり



建設部長  
小酒井 章義

郡上市は、岐阜県の約10%と広大な面積を有しており、道路・河川を始めとする社会基盤の整備と適切な管理を行うことは、日々の暮らしや経済活動を支える環境を創設することに繋がると考えます。

建設部では、基盤施設の施設改良・維持管理や、住宅及びまちづくり施策を推進しており、市民のみなさんの安心・安全な生活の確保、活力ある地域経済の持続的な発展のために、社会基盤・集落環境の計画的な整備の実施と適正な維持管理、頻発化する豪雨災害に対応するための予防保全対策に努めます。また、国道156号の整備促進、濃飛横断自動車道「八幡く和良間」の早期事業化など、国・県による主要事業の推進につきましても、引き続き関係機関へ

の要望と協働による早期実現に向けた活動を進めます。

## 快適な生活環境整備と 「脱炭素社会郡上」を 目指して



環境水道部長  
猪俣 浩己

「脱炭素社会郡上」を目指す表明から2年目となる今年度は、地球温暖化対策実行計画を策定し、二酸化炭素の排出削減、再生可能エネルギーの導入・利活用、森林整備による二酸化炭素吸収源の保全・

強化に向け、具体的な施策による、市民・事業者・行政の積極的な活動に繋がっていきたくと考えています。また、市民協働による環境保全を推進するため、ごみ減量大作戦による生ごみの減量化と堆肥化を推進するとともに、食品ロス削減推進計画を策定し、食品ロス削減に取り組みます。併せて、不法投棄の抑制を図るため、各地域にそれぞれ1

ヶ所監視カメラを設置します。一般廃棄物処理関係では、老朽化が進む郡上クリーンセンターの更新計画に伴う生活環境影響調査と施設基本計画を実施します。上水道事業では、施設の適正な維持管理を行い安全安心な飲料水の供給に努めるとともに、老朽管路の更新・耐震化事業を推進します。下水道事業では、公共用水域の水質保全に努めるとともに、下水道処理施設の統合による事業のスリム化を継続し、効率的な運営体制の確立を目指します。

## 安心・安全で質の高い 医療を目指して



市民病院事務局長  
藤田 重信

郡上市市民病院では、二次救急指定病院として、年間700件程の救急車を受け入れるとともに、570件の手術、約200件の分娩に対応するなど、中山間地域にあっても

都市部に引けを取らない医療環境の充実・強化に努めています。昨今の医療現場においては、「良質な医療の提供」と言う言葉がよく聞かれます。昨年度末、良質な医療を提供する体制が整っている病院であるかを、第三者機関に審査いただく認定病院としての承認を得るため、審査を受審しました。5年前に認定病院となり、再認定を得るための審査となり、結果は本年6月頃に確定予定です。郡上市における中核的な医療機関として、医師や看護師などの医療スタッフの確保に力を注ぐとともに、認知症などの専門知識の習得など、職員個々の医療技術等の向上を図る中で、安心・安全で良質な医療の提供が受けられるよう、職員一人丸となって努力してまいります。新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見えない中、院内の感染対策を徹底するとともに、感染症患者様に対する対応も引き続き行い、病院理念である「地域で信頼され心が癒される病院」を目指して努力してまいります。

## 住み慣れた地域で暮らしていくために



国保  
白鳥病院事務局長  
川尻 成丈

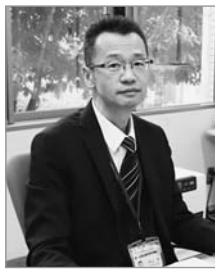
昨年度県北西部地域医療センターでは、新型コロナウイルス対策としてワクチン接種を積極的に行い延べ21,000回余の接種を実施しました。またセンター基幹病院である白鳥

病院内の病床機能転換から2年目を迎え、病床稼働率は7ポイント、外来患者数は2.6ポイント、訪問看護件数は12.5ポイントの増となり、徐々にその役割を市民のみなさんにご理解頂けているのではないかと思います。

今年度もセンターでは、総合診療を中心とした事業展開を行い、民間医療機関とも連携をしながら、へき地医療、在宅医療を推進してまいります。また、地域医療連携推進法人の仕組みを活用し、医療介護職の人材不足にも対応できる仕組みを構築したいと考

えています。これからもセンターが担うべき役割を明確にし、理念である「地域に住むすべての人がその人らしく健康で幸せに暮らせるお手伝いをします」を具現化しながら、市民のみなさんが住み慣れた地域で暮らしていくための医療・介護の提供ができるよう、職員一丸となって努めてまいります。

## 正確・迅速・効率的な会計事務の遂行



会計管理者  
中山 洋

会計管理者は、地方自治法において普通地方公共団体に一人を置くことが定められており、会計事務の適正な執行確保するために内部牽制の仕組みが採用されています。会計管理者には市長の支出命令に対して審査権が与えられ、会計事務の執行機関として独立性をもつ職です。また会計課では、予算執行の審査、決

算の調製、金融機関との連携による公金の確実な管理運用などを行っています。

令和4年度の当初予算では、一般会計と特別会計を合わせて総額約385億円の支払いが予定されています。市民のみなさんからの大切な税金であるという緊張感を持って、正確で迅速かつ効率的な会計事務の遂行に努め、より質の高い市民サービスの提供と行政コストの縮減に貢献できるように取り組んでまいります。

## 郡上市の安全・安心を守ります



消防本部消防長  
山田 浩幸

消防は、市民のみなさんの生命・身体及び財産を守る重要な任務があります。今年度は、迅速・的確に市民からの緊急通報に対応するため、高性能指令センターの部分更新を行い、機器の老朽化による障害回避と機能の充実強化を

図ります。

地域防災力の要である消防団は、出動報酬等の見直し、消防団員災害活動用自動車保険の加入など、処遇改善を図ります。

環境整備では、感染防止対策として仮眠室の個室化に取り組みとともに、女性消防職員が働きやすい環境を整備し、女性の活躍を推進します。

昨年度導入しましたドローンについては、操縦技術の向上を図り、災害発生時の情報収集等に活用できるよう取り組みます。

今後、市民のみなさんが安全・安心に暮らせるよう知識・技術の習得に努め、職員の資質の向上に努めてまいります。

## 新しい時代の学びを推進します



教育次長  
長尾 実

教育委員会では、新型コロナウイルス

ら、生命(いのち)と人権を基盤として、「ふるさと郡上を誇りに思い、未来を切り拓く、たくましく共に生きる郡上人の育成」を目指すべく、主体的・対話的で深い学び、タブレット等のICT機器を活用した学習などを通じて、確かな学力と豊かな心を育む教育を推進します。

また、「脱炭素社会郡上の実現」に向け、大和地域の4つの小学校を統合する「大和小学校」は、太陽光発電装置の整備等、脱炭素社会・持続可能な社会の実現にも配慮しながら施設整備を進めます。学校教育においても、農林業の多様性への理解を深めたり、SDGsの視点で考える力の育成を図ります。

「観光立市郡上の推進」の観点では、スポーツ大会、合宿の誘致によるスポーツツーリズムの推進や「八幡城」の天守の保存に係る耐震補強工事及び防火設備整備と、併せて展示スペースもリニューアルし、来館者の安全確保と「八幡城」の一層の魅力向上を目指します。